

## まちづくり懇談会議事録

日 時：令和3年10月28日（木）18：30～19：57

場 所：農村環境改善センター 多目的ホール

出席者：6人

### 1. 開会

### 2. 町長挨拶

※配付資料確認および日程説明

### 3. 懇談

(1) 第7次総合計画の策定について（別紙1・2参照）

(2) 自由懇談

### 4. その他（情報提供）

(1) 国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の減免について（別紙3参照）

### 5. 閉会

《懇談内容》

#### 【自由懇談】

町民：第7次総合計画策定の4番にて「人口減少によって懸念されること」とありますが、これは町においてもリスクだと思います。積極的に住民へのサービスを拡充していかねばならないのではないのでしょうか。例えば、町の広報に無料弁護士相談というのが載っていますが、相続や、空き家になった際のその税の問題などを、気軽に無料の弁護士の方に相談できるということをもっと町民に知らせていく。また、町のホームページから、例えば親が亡くなって子どもが町内にいない、町外に住んでるという方が、住民票の手続きなどを、ホームページから申請や受け取りの予約ができるようにする。そういったきめ細やかな住民サービスというものを実施しなければならないと思います。空き家対策でも、死亡届出た時に今後の対応で住宅の問題どうなるの？とか、そういったことに対してどんな法律の問題で対応して、これは行政書士の方をお願いしたり、税理士さんの方をお願いしたりすると解決できるだとか、町のシステムの中で充実させてほしい。最近建つ家よりも空き家が目立つという形になってまいりました。私はもっときめ細やかな情報を町民に与えて、もっとスムーズに行政サービスを受けられるようなことができればいいかなと考えてるんですけども、その考えを教えてください。

町長：建設的なご提言をいただきました。まず、今取り上げていただいた空き家問題、栗山町だけではなく、全国的な問題になっておりまして、栗山も200戸以上の空き家が既に存在しています。人口減少によってこれがさらに懸念されるということで、逆にこの問題となっているこの空き家を活用して、人口増に結びつけていくような逆の発想をしていけたらと思っています。今、空き家バンクとかもありますけど登録件数が少ないので、もっ

ときめ細やかな情報を行政が発信をし、そこにいろんなアクセスをしていただいて、栗山を知っていただく。そして、栗山に住んでいただけるような方を、少しずつ増やしていきけるようなことも考えていかなければならないと考えています。人口減少によって懸念される問題点はたくさんあります。少しずつ今の段階から手を打っていくということもありますし、これらを逆手にとって逆転の発想で人口増につなげていくという、両方の視点から進めていかなければならないのかなと思っています。こういうきめ細やかな住民サービスなどもしっかりと行って、町の魅力を高めることが、そこに繋がっていくものと思っています。きめ細やかな行政サービスイコール町の魅力につながる、そこで栗山に関心を持っていただいて、栗山を好きになっていただいて、栗山ファンを作っていく。私としてはその人口増に転換してくというのは難しいと思っています。いかに人口減を抑えるか、そこに向かって、今言われたようないろんなご意見を踏まえて、これからきめ細やかにしっかりとやっていきたいと思えます。

町民：6次総合計画の説明を受けた中で若者定住対策、どのようなことをやってきたかがよく見えないのですが、栗山町の人口減を少なくするには、今いる若者を栗山にとどめておく、そのためには新しい雇用の方も確保しなきゃ駄目だと考えています。例えば今までのアンケート調査をやっているのを見ても、栗山町には働く場所がない。働くとしたら農協、役場、消防とかしかないとかって話が出てきてるんですよ。でももう少し栗山町に新しい企業さんに来てもらおうとか。若者を留めておく対策とかが必要です。全道的に人口減少って言うても、確か道内の中でも上川の東川町。相当人口が増えてるんですよ。写真のまちとか打ち出してると思うんですけども、あの辺りだと相当人口が増えてますので、何か対策を取っていくと人口増えてくると思うんですよ。どちらかを重点的に、今いる人たちを外に出さないのか、それとも移住でもって栗山町に人を持ってくるのか、どちらかを重点的にやっていた方がいいのではないかなと思います。

町長：人口減を抑えていくためには、若者定住対策が一番有効と考えております。そのためにはやはり雇用の場を確保する、これが最大の有効な手段であり、一番難しい。企業誘致にしても、難しい政策の一つではないかと思っております。そのような中で、企業誘致活動を進めておまして、今年は江別製粉さんのN-GRITSが国道のあたりにできたり、滝下の方にも、豚の種の研究施設ができたり、少しずつではありますが、今までの企業誘致活動が実を結んできています。雇用の場を作っていくということは、環境の整備をきちんとしなくてはならないと考えています。国道234号線の四車線化とバイパス整備。これは角田地区の方で以前から、いろいろとお話をさせていただいておりますが、それを平成10年から、我々行政が主体となって進めてきて、この度、行政だけでは難しいだろうと町の有志の方が声を上げていただいて、町をあげてこの国道234号線の整備について、しっかり国に要請していこうということで、先日、期成会が立ち上がりました。その中には議員の方々、連合町内会、角田連合会、継立連合会から、本当に町民の各界有志が入っていただいて立ち上がりました。四車線化を今要望してる区間としては、桜丘から工業団地の旭台、その区間について四車線化になると、工業団地がありますので、道路環境が整うと企業も進出しやすくなります。ですので重点的にやるべきと思っておりますし、もう一つは工業団地のところから由仁の古川まで抜けるバイパス整備。角田橋のところはかなり渋滞が発生しています。さらには角田小学校もあって、交通安全上の問題も懸念されます。そちらもバイパスができることによって、大型車両が通行がしやすくなるわけですね。そ

うするとさらに企業進出ということになってくると思いますので、少し長い目で見なければならぬ話ではありますが、企業誘致を推進できるような、道路を含めた整備を行っていくということでもあります。まだ正式な決定ではありませんが、懸案となっていました継立中学校の跡地。ここに今、大阪の企業が入っていただけるようなことで、地元の継立の方とも懇談をして、そして選考委員会をして、地域の中では決まったというところではあります。これから議会など色々な手続きがありますから、まだ正式決定ではありませんけれども、ああいふ南部の拠点となる継立地域に、企業さんが入ってくると、キャンプ場とか、テレワークやシェアオフィスなど、色々な事業展開をしている企業さんが入ることになりました。そこで雇用が生まれるだとか、一つずつではありますけれども、そのような取組もやっておりますし、先ほどお話しした、駅前の駅南交流拠点施設。ここを2年かけて整理しています。運営を将来担っていく地域おこし協力隊が、10名おります。町の職員も交えて、その施設をどのようにして、栗山の賑わいの拠点としての議論を頑張らせていただいています。そのような方々が栗山に新風を吹き込む。そして新たな雇用が生まれて、またその方々に次いで、新しい方が入ってくるような、少しずつそういうものを積み重ねて、この人口減を抑えていくということを進めていきたいと思っています。人口の自然減。亡くなった方と生まれる方の差。亡くなる方を減らすためにはですね、先ほど言った健康寿命の延伸対策。ここをやると、少しずつではありますけれども自然減も少なくなります。生まれる方を増やすための子育て支援対策も行うと、さらに社会減の増減の方を見ますね。今言われた転出を抑える。子どもたちが栗山に働く場所が無い場合、学校を卒業したら町外に出てしまうところは抑えが難しいですが、転入、入ってくる方、これらは今言ったような色々な取組を通じて、社会減の差が縮まってきてるんですね。傾向としては、人口減少が鈍化しています。4年前に1年間の減少する人口が290人位でしたが220人になり187人になり、昨年は160人です。今年は統計取ってる中では180人位に戻るかなと思いますけど、少しずつ人口減少が落ち着いてきています。これまでやってきた町の取組、町民の皆さんもご協力いただきながらやってきた町の取組は方向性としては間違っていないと、考えていますので、長い取組にはなりますけど、この7次の計画の中でも、しっかりやることで思っています。

町民：立派な総合計画案だと思います。将来に向けて期待していますが、策定にあたりまして一番大事なことは、5次6次7次と来ていますので、過去と照らし合わせたりすれば課題が見えてきて、現実に向かった立派な案ができるのではないかと考えています。もう少し課題を見つけていただいて、大変なことだと思いますけども、立派な計画案の作成のためによろしくお願ひしたいと思っています。

町長：総合計画の策定に向けては、新しいこともそうですけども、今までやってきたこととしっかり照らし合わせて進めていく必要があると思っております。策定にあたっては内部の方で各担当課長とすべて協議検証してすすめていますけども、過去の計画とも照らし合わせて進めていきたいと思っています。

町民：今回、回ってきたアンケート、一言足りないのではないかと感じました。この間の中で「あなたの日常生活～」がありますが、コロナ禍の中での生活と、2年前って全く違います。今の生活とかコロナ禍の中での生活だと、例えば買い物とか病院とかには以前はよく出ていたのですが、今は全く出ないです。これはどっちを書いたらいいのか。今を書くのか、コロナ禍でない中を書くのか、わからないのです。全町一斉大掃除ですが、今

回、秋の一斉清掃が10月17日、春が確か4月18日。春秋とも雨でしたが、秋の方は回覧板の方でも雨天決行になっていたから、町内会の方でもご高齢の方は雨天決行でも出てきていました。相当寒くて、出てきた皆さん震えてたんですよ。その中で風邪ひいたら大変ということで、最初から栗山町の決まりごととして、雨だったら自動的に翌週に順延する、そのようなルールを作ってもらおうとか、ゴミの回収とかの問題もあると思いますが、いかがでしょうか。

建設課長：一点目の立地適正化計画のアンケートの件についてですが、建設課の方で行っております立地適正化計画、栗山市街地を中心とする中での、計画策定になりますが、まず、どうして、今回適正化計画をつくるのかというところですが、段々と人口減少していきますと、今の市街地の中も段々空洞化してきています。商店街も含めて、住宅地もそうですけども段々空洞化してくると、将来、この地点に、主要な公共施設も含めて、どの地区に集約していくのか、住宅地もどのような形で集約していくのか。交通はどうするのか。それらを含めて策定をすると、事業を行う際に補助金をいただいたり、そういうこともありますので、策定に2年をかけて進めております。できれば通常の状態、コロナなかなか外に出られなかったりだとか、不自由な生活も送られてますので、そうではなくて、できれば通常の状態での行動でどうなのかというところでお答えいただければと思いますけれども、今言われたように今年なのかという言葉の説明は足りなかったと反省しております。

環境政策課長：2点目の全町一斉清掃の関係の問い合わせですが、今年度、2回とも雨天となりまして、それで雨天決行と記載しています。これは、雨の降る状況によって開催の判断を決めて、それを周知するという時間を考えた時に、線引きとして雨天決行ということにしています。地域によって天気予報も細かく出ますから、1日前に雨が降ることを把握している場合などについては、開催については対応いたします。今後こういうことがあったときに、例えば、雨天の時は花火を2回上げたら1週間遅らせますよとか中止しますよ延期しますとか、ただ、地域で対応できるのかという課題もありますので、要望を見ながら、晴れの日開催か次の日開催など、より良い方法を考えていきますのでよろしく願いしたいと思います。

町民：全国的に言われている若い世代の生理の貧困。全国的には、学校の女子トイレに生理用品を置いてるとか、報道されていますが、また、今コロナでひとり親の家庭は、収入が少なくなって食事もなかなかとれない、そういう家庭も出始めてきたというマスコミの報道がありました。栗山町には子ども食堂は無いと思いますが、子ども食堂の支援体制とか、広報くりやまの中とか、また議員からの質問とか、既に実施されてるのかもしれませんが、教えていただければと思います。

福祉課長：栗山町にはひとり親の世帯が数十世帯いらっしゃいます。コロナの影響で、国の方でもひとり親対策で支援金を支給していますが、それに基づいて栗山町も支援しているところがございます。子ども食堂という事で栗山町は行っておりません。ただ、イベントのような形で、例えば町内の農業者の方が、子ども食堂的な食育活動というのを開催している例もあります。しかし、定期的に行っているわけではありません。今後、そこまでのニーズなども含めて、検討していきます。

教育長：子どもの身体に関わるお話が出ていましたが、まず、しっかりとした子どもの権利に関わる、その整理をしていきたいという風に考えています。実態として女子トイレの話

がありました。実態の調査は栗山町としては行っていません。保健室の先生との関係の中で、女性的な部分については処理させていただいてというのが現状です。様々な子どもや家庭に関することについては、法整備をしています。例えば、いじめ問題、旭川的事件でした。そういった事に関わる、学校だけではなくて、外からの干渉体制ですか、隠ぺいの話とかよく聞かれますが、そういった部分の外部報告を学校に対してきちんとしていただけるよう整備をしていこうと、子どもの命を守るという所の町全体の考え方を提示してる所です。

町民：今年度の予算の関係をお聞きしたいと思います。角田に防犯カメラを設置される予定と聞いてますけど、その情報が、分からない状態ですけど、その中であって、先週、角田改善センターの駐車場で当て逃げが発生しています。警察に防犯カメラは無いのか尋ねたんですけど、残念ながらそういうものは見当たらないという事で、そういう経過もありますので。どこについているのか、まだこれから考えられるのか、お聞きしたいと思います。

環境政策課長：防犯カメラの関係ですが、現在2機、今期1機設置することで、町内会と相談をしながら進めてる最中です。設置する場所は、今検討中の場所は栗山交番の道路を挟んで南側に青い看板があるので、そこに建柱を利用して設置しようと思ってます。撮影する場所につきましては交番と国道の十字路、交差点部分の撮影をする方向で考えています。以前も角田地区で相談させていただいた時に、個人の自宅とか映ると見られてるみたいで気が引けるというか、そういう懸念もあると考えた時にその地域がどうかということで検討しています。犯罪が起きた時に情報提供する先は、基本的には警察ですので、個人が見ることはないんですけども、通行車両とかを確認することで考えていますので、駐車場の前で当て逃げがあったということですが、今回つけるカメラだと映すことはできないという事にはなりますが、計画はそのような形になっております。

19：57 終了